

総合計画懇話会の討議経過(中間報告)

平成 18 年 9 月 25 日の第 1 回懇話会において、懇話会の進め方について意見交換があり、各委員が論じてみたい分野について調査することになった。

各委員から希望分野のキーワードを抽出すると、概ね次のとおりとなった。

市民生活・健康・福祉・環境・一体感・医療・教育・文化・歴史・芸術・スポーツ・生涯学習・美しい町・子育て支援・交通安全・協働・健全・安心・観光・地域産業・地域開発・ガーデニング・道の駅・下水道・道路整備・施設利用

上記を受けて、平成 18 年 11 月 10 日第 2 回懇話会において、下記のとおりグループ編成を行った。

【共通事項】… “横断的” テーマ

バリアフリー・協働・地域社会・財政・行政改革・男女共同参画・人権
・広域行政の推進・施設利用

【第 1 グループ】…主に “ソフト”

(キーワード)

健康・福祉・環境・一体感・医療・教育・文化・歴史・芸術・スポーツ・生涯学習・美しい町・子育て支援・交通安全・協働・健全・安心市民生活

【第 2 グループ】…主に “ハード”

(キーワード)

観光・地域産業・地域開発・ガーデニング・道の駅・下水道・道路整備

(関連分野)

疾病予防・地域医療・健康づくり・地域保健福祉拠点・社会福祉・高齢者・障害者生活支援・生きがい活動・介護・保険年金・消費生活・人材育成・人格形成・学区・史跡保存・文化会館・地域間交流・環境美化・公害対策・防災・消防・交通安全

(関連分野)

土地利用・都市計画・産業振興・開発・道路・公共交通機関・公園・上下水道・企業誘致・経営起業支援・広域観光・庁舎建設

倉井委員、黒須委員、松本(文)委員、倉持委員、岡部委員、関口委員、小川委員、松本(典)委員

竹中委員、加藤委員、中澤委員、小島委員、梅山委員、茂木委員、上野委員、池田委員

グループ長 副グループ長 書記

第 1 グループは副グループ長兼書記とし、持ち回りによる。

これまでの主な討議結果

【第1グループ】(主に“ソフト”を中心に議論をするグループ)

12/8 (第3回)	「こんなまちにしたい」とのテーマで各委員が思っていることを抽出。 ・学校(いじめのない学校、教育関係の充実) ・子育て(子育て支援の充実) ・福祉(市内循環バス、医療福祉の充実など) ・行政、将来のまちの姿、文化
12/22 (第4回)	地域が学校教育にどのように関わっていくべきか。 ・学校教育の充実 地域や行政の力が必要。 ・学校側として、先生の意見を聞く。 ・学校を開放してボランティア活動をすべき。
1/11 (第5回)	学校教育に関連して、育成会や学校支援ボランティアなどの組織のあり方 昔からの文化の継承の大切さ 団塊の世代の方が地域活動に参加するためのきっかけづくり 高齢者が外に出てきて活動をできるような居場所作り 組織団体の体系化 少子化対策
1/29 (第6回)	行政についての自由討議 税金・料金等の未納問題 緑の保全(街路樹の管理など)

【第2グループ】(主に“ハード”を中心に議論をするグループ)

12/8 (第3回)	既存施設の問題点の抽出や、施設の活用方法 都市構造や特徴ある地域資源の確認 福祉センターのように市内に複数ある類似施設の活用、機能を特化
12/22 (第4回)	特徴あるガーデニング施設づくり 農業を主体としたまちづくり 長期的な視点での下水道の普及 巡回バスの一本化
1/11 (第5回)	商店街活性化 駐車場や看板がキーワード、下野ブランドの立ち上げ 庁舎建設 ITを活用し、コンパクトな庁舎づくり ITインフラ整備による新事業(ケーブルテレビ、インターネット、電話・携帯電話)
1/29 (第6回)	提言書の取りまとめ作業 現在までの討議結果から施策の体系を整理

提言書取りまとめまでのスケジュール

各グループでまとめる。 2/5(月) 13:30~

グループ毎の意見をつきあわせて議論する。

(1) 第1回合同協議 2/13(火) 14:00~

(2) 第2回合同協議 2/22(木) 13:30~

素案作成【グループ長・会長・事務局】 “ワーキングチーム” = 随時

精査する。

最終「提言書」の取りまとめ。 } 3/20(火) 13:30~